

第 54 期

中間報告書

(自 平成22年4月1日)

(至 平成22年9月30日)



Ko-tetsu

東京鋼鐵株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第54期中間期（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）の営業概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、アジア諸国を中心とした輸出の回復と政府の景気刺激策により、一部に回復の兆しがみられたものの、欧州の金融不安や米国の景気低迷に加え、円高傾向が続いており、景気の下振れ懸念等により依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社の属する普通鋼電炉業界におきましては、企業業績の先行き不透明感から民間設備投資の慎重姿勢が続く等、鋼材需要は盛り上がりせず依然として低調に推移しております。

こうした状況のもと当社では、需要が旺盛なアジア地域へ鋼片販売を積極的に行い、操業の全体最適化を図りながら徹底したコスト削減を進めた結果、前年同期比増収増益となりました。

(1) 売上高

国内鋼材需要が依然として低水準の中、海外向けの鋼片販売を引続き積極的に行いました。また、前年同期に比べ原料である鉄スクラップ価格が上昇したことに伴い販売単価も回復したことから、売上高は前年同期比1,452百万円増加（24.7%）し7,332百万円となりました。

(2) 営業利益

売上高の回復による売上総利益の増加と、粗鋼生産量回復に伴う製造コストの減少等により、営業利益は前年同期比48百万円増加（7.3%）し712百万円となりました。

(3) 経常利益

営業利益の増加に加え、原料である鉄スクラップの取引金額増加による仕入割引と法人税等の税金還付による還付加算金の受取等により、前年同期比74百万円増加（11.0%）し751百万円となりました。

(4) 中間純利益

法人税等を差し引いた結果、経常利益の増加により、前年同期比43百万円増加（10.7%）し447百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前期末に比べて979百万円増加し、4,163百万円となりました。なお、当中間期における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,566百万円（前年同期は691百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税引前中間純利益748百万円、減価償却費413百万円と、鉄スクラップの購入量が増加したことによる仕入債務の増加698百万円であります。支出の主な内訳は、鋼材、鋼片ともに販売数量が増加したことによる売上債権の増加317百万円とたな卸資産の増加266百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は319百万円（前年同期は691百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出104百万円と資金運用を目的としたその他の支出の増加212百万円が要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は267百万円（前年同期は267百万円の支出）となりました。これは、借入金返済により有利子負債が198百万円減少したことと、剰余金の配当による支出69百万円によるものであります。

当中間期の配当金につきましては、今後の事業環境及び事業の継続的成長のための内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり4円とさせて頂きたいと存じます。

今後の見通しにつきましては、円高の進行による輸出環境の悪化、更には鉄スクラップ価格の不安定な動向など、収益をめぐる環境が一層厳しさを増すものと思われま

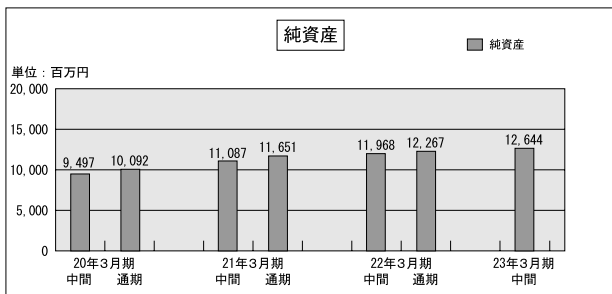
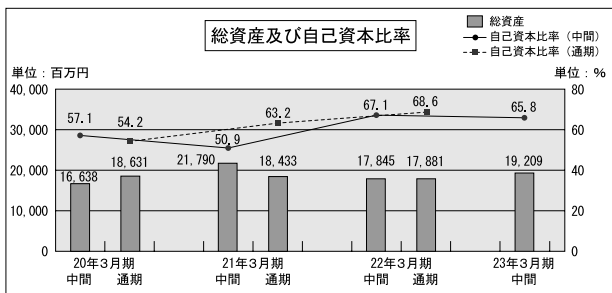
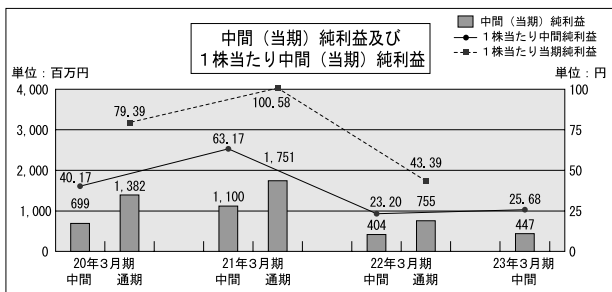
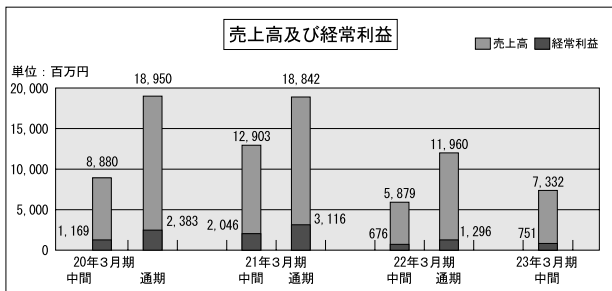
す。当社といたしましては、急激に変化する国内外経済情勢と鋼材需給環境の動向に、より一層の注意を払い、需要に見合った生産の継続やコスト削減に努め、お客様に喜ばれる製品造りを心がけてまいります。また、人材育成や最適な設備投資による競争力の強化に取り組むとともに、環境にも配慮し地域との融和を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 南 良 隆

業績の推移



中間貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	8,735,639	流 動 負 債	4,594,995
現金及び預金	53,524	買掛金	2,521,487
売掛金	2,901,248	短期借入金	400,000
有価証券	1,000,000	未払金	806,731
棚卸資産	1,622,833	その他の流動負債	866,776
前払費用	21,219	固 定 負 債	1,969,936
預け金	3,110,000	長期借入金	244,027
繰延税金資産	19,365	環境対策引当金	153,353
その他の流動資産	7,447	再評価に係る繰延税金負債	1,506,154
		その他の固定負債	66,402
固 定 資 産	10,473,912	負 債 合 計	6,564,931
有形固定資産	10,059,631	純 資 産 の 部	
建物及び構築物	1,151,776	株 主 資 本	10,426,357
機械及び装置	3,837,271	資本金	2,453,000
土地	4,546,090	資本剰余金	981,690
その他の有形固定資産	524,492	資本準備金	981,690
無形固定資産	25,528	利益剰余金	7,004,751
投資その他の資産	388,752	利益準備金	21,000
投資有価証券	222,566	その他利益剰余金	6,983,751
関係会社株式	60,000	繰越利益剰余金	6,983,751
その他の投資	106,186	自 己 株 式	△13,083
		評価・換算差額等	2,218,262
		土地再評価差額金	2,218,262
資 産 合 計	19,209,551	純 資 産 合 計	12,644,620
		負債・純資産合計	19,209,551

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 13,332,837千円

中間損益計算書 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		7,332,556
売 上 原 価		6,118,484
売 上 総 利 益		1,214,071
販売費及び一般管理費		501,992
営 業 利 益		712,078
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	3,664	
その他の営業外収益	43,115	46,780
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	3,912	
その他の営業外費用	3,432	7,345
経 常 利 益		751,513
特 別 利 益		
固定資産売却益	17	17
特 別 損 失		
固定資産除却損	3,376	3,376
税引前中間純利益		748,154
法人税等		301,045
中 間 純 利 益		447,108

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり中間純利益 25.68円

会社の概要 (平成22年9月30日現在)

資本金	2,453,000,000円
本社	東京都千代田区神田司町二丁目2番地
発行済株式総数	17,446,000株
株主数	863名
従業員数	109名

役員 (平成22年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	南良隆
専務取締役 (購買部長、本社機構管掌)	新野善行
常務取締役 (工場長兼工務部長)	中野收
取締役 (営業部長)	峯岸裕
取締役 (製造部長)	安保義久
取締役 (経理部長兼総務部長)	小口芳一
常勤監査役	上野秀男
監査役	宇津木修
監査役	池田文美

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 (JASDAQ市場)
公告の方法	電子公告 (当社ホームページに掲載) ただし、事故その他やむを得ない事由によつて電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。